

第11回脳卒中合宿セミナー

看護師 芹田真梨子

当院主催の第11回脳卒中合宿セミナーが6月23日～24日の2日間にわたり開催されました。今回のテーマは「前へ!～脳卒中の接近・展開・継続～」でした。脳卒中に熱い思いを持った方々が、全国から200人あまり参加されました。

特別講演では、森本将史先生(横浜新都市脳神経外科病院長)をはじめ、国際的にもご活躍中の5名の先生方にお越しいただき、各分野における専門性の高い貴重な講演を聞かせていただきました。急性期治療の現状や、高次脳機能障害、嚥下に関する興味深い内容でした。また、講演の中には、目白大学のスタッフによる脳卒中啓発演劇があり、大変盛り上がりしました。

夜は懇親会があり、看護師やリハビリスタッフなど多職種で様々な情報交換、意見交換により、交流を深めるとともに、良い刺激を与え合いました。

た。セミナーで得た学びを、今後の医療、看護の現場で役立て、一歩でも前へ前進したいと思います。



ワーク・ライフ・バランス推進 カンゴサウルス賞

看護師長 浜松めぐみ

日本看護協会主催する「第6回看護職のワーク・ライフ・バランス(以下、WLB)推進カンゴサウルス賞」授賞式が5月23日、ザ・ストリングス表参道にて開催され、当院看護部は「カンゴサウルス賞」を受賞しました。

当院では、平成27年度から「看護職のWLB推進ワークショップ」事業に参加しており、「お互いを思いやり、やりがいをもって長く仕事を続けられる職場作り」を目指して、全員参加で毎年度WLBに関する業務改善を行ってまいりました。

また、看護部長、副看護部長と看護部スタッフが気軽に意見交換をできるランチ会の場を提供したり、業務改善の成果や業務量などの実態調査結果を看護部全体に周知するなど様々な取り組みを行ってまいりました。

看護部では今後も、この取り組みを継続していきたいと考えております。

